

藤原宮跡ARアプリ作成業務 公募型プロポーザル実施要領

1. プロポーザルの目的

藤原宮跡AR作成業務（以下、本業務という）では、世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」の重要な構成資産である藤原宮跡において、市民及び来訪者に藤原宮跡の歴史的価値を学び理解を深めるために提供する、ARをはじめとするデジタル技術を活用したコンテンツを含むアプリを作成・公開する。藤原宮跡は大部分の遺構が地下に埋蔵された状態であり、建物等の復元CGや発掘現場の様子を表示し、現地で体験が可能となるARの効果は高い。

なお、本業務は令和7～12年度にかけて実施予定である藤原宮跡、本薬師寺跡、菖蒲池古墳等の橿原市 世界遺産構成資産ARアプリ作成事業（別紙 全体計画書参照）の一部であり、令和7年度は計画初年度として藤原宮跡を対象としたARアプリを作成し、一般への公開を開始するものである。

本業務の目的達成に向けて、デジタルコンテンツを用いた遺跡の解説や活用についての実績・技術力・企画力・創造性を勘案して最も適した業者を受注候補者として特定するため、公募型プロポーザルを実施する。

2. 契約の概要

1	案件名	藤原宮跡ARアプリ作成業務
2	業務内容	別紙「仕様書」のとおり
3	業務期間	契約日の翌日から令和8年3月31日
4	納入先	橿原市役所 世界遺産登録推進課
5	契約保証金	無
6	支払条件	業務完了後一括支払
7	予算額（見積限度額）	20,900,000円（税込） 予算額を超える提案は受け付けない。

3. 提案資格

本プロポーザルに参加しようとする者は、以下の要件を全て満たすものとする。

- (1) 橿原市入札参加資格者名簿 役務「情報処理」「その他役務」のいずれかに登録されている者であること。
- (2) 地方自治法施行令第167条の4第1項各号のいずれかに該当する者又は同条第2項各号のいずれかに該当したために競争入札に参加させないこととした者ではないこと。
- (3) 橿原市入札参加資格停止要綱（平成14年橿原市告示第208号）による資格停止措置を受けていない者であること。
- (4) 破産法（平成16年法律第75号）の規定に基づく破産手続開始の申し立て、会社更生法（平成14年法律第154号）の規定に基づく更生手続開始の申し立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）の規定に基づく再生手続の開始の申し立てをしていない者又は申し立てがなされていない者であること。

- (5) 橿原市契約における暴力団排除に関する要綱（平成24年橿原市告示第175号）に基づく入札参加資格取消措置を受けていない者であること。
- (6) 過去10年以内に官公庁が発注した契約金額1,000万円以上の、文化財の解説等に係るデジタルコンテンツの作成（企画・デザインを含む）の実績を有する者であること。

4. 契約までのスケジュール

項番	手順	期限等
1	公告日	令和7年6月27日（金）
2	実施要領等の交付期限	令和7年7月4日（金）正午まで
3	参加表明書提出期限	令和7年7月4日（金）13時まで
4	提案資格確認結果通知書の送付	令和7年7月8日（火）
5	質疑書の提出	令和7年7月14日（月）正午まで
6	質疑の回答	令和7年7月15日（火）17時頃
7	企画提案書類の提出	令和7年7月28日（月）17時まで
8	プレゼンテーション・ヒアリング 日程の通知	令和7年7月29日（火）
9	プレゼンテーション・ヒアリングの 実施	令和7年7月31日（木）各指定時間 予定
10	結果通知	令和7年8月1日（金） 発送予定
11	橿原市と受注候補者で協議、共同で 仕様書確定作業	令和7年8月 予定
12	契約日、結果公表日	令和7年9月 予定

5. プロポーザルの手順

公募型プロポーザル実施要領等の交付期間等

交付期間 令和7年6月27日（金）から令和7年7月4日（金）正午まで

（橿原市ホームページ→しごと・産業→入札・契約→入札・監督検査→橿原市入札・見積予報→プロポーザル案件【公募型】からダウンロード）

交付資料 ①実施要領、②仕様書、③全体計画書、④参加表明書（様式第1号）、⑤説明請求書（様式第3号）、
⑥企画提案書表紙（様式A）、⑦質問票（様式B）

6. 参加表明書の提出

- 提出期間 令和7年6月27日（金）から令和7年7月4日（金）13時まで
（9時から17時まで、最終日は13時まで）
- 提出場所 橿原市役所 魅力創造部 世界遺産登録推進課（北館1階）
〒634-8586 橿原市八木町1丁目1-18
- 提出書類 参加表明書（様式第1号）及び添付資料 各1部
（添付資料に会社の概要、同種業務の実績を詳細に記入すること）
- 提出方法 持参または郵送
郵送による場合は、書留郵便によることとし令和7年7月4日（金）13時までに到着したものに限る。
- 備 考 参加表明書を提出した者には、提案資格を確認した後に「提案資格確認結果通知書」を令和7年7月8日（火）にFAXにて通知する。なお、提案資格要件を満たさない旨を通知された者は「説明請求書（様式第3号）」を提出し、その理由について説明を求めることができる。

7. 質問及び回答

- 受付期限 令和7年7月14日（月）正午まで
- 提出場所 橿原市役所 魅力創造部 世界遺産登録推進課（北館1階）
〒634-8586 橿原市八木町1丁目1-18
- 質問方法 「質問票（様式B）」に要旨を箇条書きで簡潔にまとめ、FAXまたは電子メールにて送付。なお、質疑のない場合も、その旨をFAXまたは電子メールで送付すること。
FAX：0744-24-9716 E-mail：sekaiisan@city.kashihara.nara.jp
※審査の内容に関係しない軽易な質問内容を除き口頭による質問は受け付けない。
- 回 答 質問に対する回答は、一括して質問回答書としてとりまとめ、令和7年7月15日（火）17時頃に、FAXにて参加者全体に回答書を送信する。なお、質問が一件もなかった場合は、橿原市から連絡を行わない。

8. 企画提案書の提出

提出期限 令和7年7月28日（月） 17時まで

提出場所 橿原市役所 魅力創造部 世界遺産登録推進課（北館1階）
〒634-8586 橿原市八木町1丁目1-18

提出書類 企画提案書（下記別表による）

提出方法 持参または郵送

郵送による場合は、書留郵便によることとし令和7年7月28日（月）17時までに到着したものに限る。

備 考 後日、提案者に対してヒアリング時間、場所等の詳細を連絡する。

別表（企画提案書作成要領）

書類名	内容及び提出に際しての注意事項
企画提案書 (表紙は様式A。以下は任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・提出部数：代表者印及び社印を押印した正本1部、副本10部（<u>副本は、会社名を特定できない内容とすること</u>）。 ・A4普通紙、縦型・横型自由、横書き、両面印刷、またはA3普通紙、横型、横書き、片面印刷とする。合計30ページ以内とする（表紙を除く。A3の場合は1枚で2ページと計算）。ページ番号を付記すること。 ・企画提案書の内容：以下の内容について記載すること。
実施体制と事業実績 (様式は任意)	<ol style="list-style-type: none"> 1 本業務の実施体制 2 直近10年間における官公庁や関連機関での同様案件の実績
提案書 (様式は任意)	<p>提案書の内容は、本業務の目的及び別紙仕様書の内容に沿ったものとする。</p> <p>※藤原宮跡の現地で利用するARアプリを含む内容であれば、仕様書「4. 業務の詳細内容」ととらわれない、新たな仕様を提案してもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤原宮跡で利用するAR等のコンテンツについての提案。 ・公開の手法と活用についての提案。 ・本業務完了までの実施計画（業務内容及びスケジュール）。 <p>※令和7年度の内容とする。令和8年度以降について、提示したい内容があれば記載してもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務（令和7年度）完了後の、橿原市 世界遺産構成資産ARアプリ作成事業計画（別紙 全体計画書参照）に沿った令和8年度以降の計画についての提案。年度別に実施概要を提示すること。 <p>※これにより必ずしも令和8年度以降の契約を確約するわけではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、実施にあたり特に提案したい点があれば、その内容と理由。
見積書 (様式は任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務（令和7年度）を実施する場合の見積金額及び内訳金額（消費税込）を記載。可能な限り、人員、単価等の積算根拠を記入すること。 ・本業務（令和7年度）の完了後に発生する定期的な保守及び管理費用や不定期のOS等更新作業費用について、内容と金額を提示すること。なお、これらの費用については本業務の委託料に含めない。 ・本業務の見積とは別に、令和8年度以降の計画提案における各年度の費用概算を提示すること。なお、その際の予算額は、各年度とも令和7年度予算と同程度を想定して作成すること。

備考：企画提案書作成に当たっての注意事項

- ・指定した様式に則り、横書きで作成すること。
- ・企画提案書の文字の大きさは10ポイント以上とすること。（表中や図中の文字は対象外とする。）

9. プレゼンテーション・ヒアリング日程等の通知

書類の提出があった候補者に対して、メールで「ヒアリング開催通知書」を送付し、ヒアリングの日時と会場を指定する。

10. プレゼンテーション・ヒアリング

次のとおりプレゼンテーション・ヒアリングを行う。出席しない場合は採点を行わない。

なお、審査にあたっては、参加者を特定せずに行うため、企画提案書の作成及びプレゼンテーション実施の際に注意すること。

項 目	注 意 事 項
日時・会場	令和7年7月31日（木） 橿原市内施設 時刻及び会場等についてはヒアリング開催通知書にて指定する。
持ち時間	30分以内
出席者	3名以内 ・説明は、本業務を担当する業務管理者又は業務担当責任者が行うこと。 ・会社名を特定できるようなものを身につけないこと。
プレゼンテーション・ ヒアリング内容	・提出した企画提案書の内容説明（15分） 説明に利用できるPC、プロジェクタ、HDMI ケーブル、スクリーンは 橿原市が用意。PCは説明者の持ち込みも可とする。PC等の準備作 業は5分以内とし、上記説明時間には含まない。 企画提案書に記載されているものであればデモコンテンツ実演は可。 ・企画提案書の内容に関する質疑応答（15分）

11. 評価・結果通知

藤原宮跡ARアプリ作成業務に係る橿原市プロポーザル評価委員会（以下「委員会」という。）の委員（以下「委員」という。）が、提案書類内容について意見交換を行い、各委員が後記「採点基準項目及び配点表」に基づいて採点する。各委員の持ち点100点満点の総合計の6割を最低基準点とし、最低基準点以上で最高得点を得た者を契約候補者に特定する。なお、最高得点を取得した者が2者以上となる場合は、「採点基準項目及び配点表」の項目3-①、4-①・⑥の合計点が最も高い候補者に特定する。これが同点の場合は、くじ引きとする。

受注候補者特定後、プレゼンテーション・ヒアリング参加者全員に郵送で「プロポーザル採点結果通知書」を送付し、受注候補者として特定した者の名称を通知する。

12. 仕様書（契約締結用）の作成

橿原市と受注候補者として仕様書等の調整を行い、契約に向けた交渉を行う。交渉により確定した仕様書に基づき、契約を行うための見積書を提出した後、契約を締結する。

なお、受注候補者との契約締結交渉の結果、合意に至らなかった場合、採点結果が第2位の者と交渉を行う。

13. 契約の締結、実施結果の公表

受注候補者と契約締結後、橿原市ホームページ（入札・監督検査内）にて、プロポーザル方式実施結果（様式第6号）を掲載する。

14. 採点基準項目及び配点表

	採点基準項目	配点
1	実施体制	
	① 実施にあたって、充実した体制での業務推進が期待できるか。	10
2	類似実績	
	① 本業務に活かすことができる、官公庁が発注した同種業務の実績はあるか。	10
3	基本方針	
	① 藤原宮跡の歴史的価値及び本業務の基本的な考え方を十分理解しているか。	10
4	実施内容	
	① 企画の内容が本業務の目的と合致しているか。	10
	② これまでの実績と経験を活かした魅力的な発想の提案が示されているか。	10
	③ 利用者の目線を意識した、間口の広い仕組み作りが提案されているか。	10
	④ 藤原宮跡をはじめとする現地の特性を十分に把握・理解した提案が示されているか。	10
	⑤ C Gの表示や文化財の解説だけで終わらない工夫が盛り込まれているか。	10
	⑥ 令和8年度以降の提案内容が魅力的かつ実現可能な内容となっているか。	10
5	見積内容	
	① 見積内容が妥当か。	10
合 計		100

15. その他の留意事項

- (1) プロポーザルに参加する費用は、全て参加者の負担とする。
- (2) 書類の作成に用いる言語は日本語とし、通貨は日本円とする。
- (3) 提案書提出は、1者につき1件とする。
- (4) 提出書類提出後の提案書等の修正又は変更は認めない。ただし、やむを得ない理由により変更が生じた場合で、橿原市が承諾したものについてはこの限りではない。
- (5) 提出書類の著作権は、参加者に帰属する。ただし、橿原市が本案件のプロポーザルに関する報告、公表等のために必要な場合は、提出書類の内容を無償で利用できるものとする。
- (6) 提出書類の取扱いは、次のとおりとする。
 - ①提出された書類は一切返却しない。
 - ②本案件に係る情報公開請求があった場合は、橿原市情報公開条例に基づき提出書類を公開する場合がある。
- (7) 次の一に該当する場合は、失格となる場合がある。
 - ①提出方法、提出先、提出期限に適合しないもの。
 - ②予算額（見積限度額）を超えるもの。
 - ③記載すべき事項の全部又は一部が記載されていないもの。
 - ④許容された表現方法以外の表現方法が用いられているもの。
 - ⑤虚偽の内容が記載されているもの。

16. 本案件に関する問合せ先

〒634-8586 橿原市八木町1丁目1番18号

担当部署名 魅力創造部 世界遺産登録推進課

担当者名 石坂 泰士

電話番号 0744-21-1114（直通）

FAX番号 0744-24-9716

E-mailアドレス sekaiisan@city.kashihara.nara.jp